

国立研究開発法人国立がん研究センター

人材交流

- 国立がん研究センター(NCC)からPMDAへの派遣者は計15名、PMDAからNCCへの派遣者は計2名である。
- PMDAへの派遣者は帰任後に、臨床研究支援部門を中心に配属され、全員が医薬品・医療機器等の開発支援に貢献している。

人材育成

- PMDA職員を対象として、NCCでの治験審査委員会、外来がん化学療法に関する薬剤師業務等の見学研修を実施した。
- NCCが主催した 新薬や医療機器の開発に関するシンポジウム等において、PMDA職員が講演等を行った。

共同事業

- 希少がんの臨床開発の環境整備等に関する連携・協力の一環として、NCCが実施する研究事業である「MASTER KEY Project」に関するNCC-PMDA連絡会を設置し、情報共有や意見交換を行った。本プロジェクトに関して、日本臨床腫瘍学会での講演、論文の公表 (Okuma HS et al. Clin Pharmacol Ther 2020) を行った。
- NCCが主体となって実施した「新規抗がん剤のPK/PD/PGxに基づく適正使用と安全性確保に関する研究」に、PMDA職員が協力した。
- PMDAアジアトレーニングセンターのセミナーにおいて、NCC職員が講演を行った。

令和2年度末現在